

タイ中央銀行の招きで先週1週間、バンコクに滞在した。毎朝8時半にホテルを出発し、金融政策のあり方をめぐって中央銀行の幹部やスタッフと議論し、夕方ホテルに戻るとい生活をした。

## NHKの国際放送

東京大公共政策大学院副院長 伊藤 隆敏



ユースも読んだが、テレビのニュースも見たい。ホテルではNHKワールド・プレミアム(国際放送)が視聴できたが、朝は日本の番組をリアルタイムで流していた。東京とバンコクの時差は2時間。東京の朝7時のニュースは、バンコクでは朝5時から放映される。バンコクの朝6時から「ゲゲゲの女房」。朝食を終えて部屋に戻り、出発の準備をする時

間は「きょうの料理」だ。この時間帯に料理番組はないだろう。メールチェックや着替えをしながらの情報収集は、米CNNか英BBCに頼らざるをえなかった。NHKの事情もあるだろうが、朝の国際放送は東京の都合ではなく、現地の時間に合わせてほしい。バブル景気の勢いがあつた1990年、CNNに対抗して、NHKがBBCや米ABCと組んで、24時間の世界向けニュース専門局を作るという「GNN構想」を打ち

出したことがある。実現にむけて、バイリンガルの新入社員も採用した。だが、いろいろな事情でGNN構想は立ち消えとなり、日本は世界のニュース放送の第三の軸になりそこねた。欧米では日本の国際放送が見られるホテルを探すのも難しい。中国やアラブ系の放送局が存在感を増している。せめてアジアへのビジネス出張者のため、NHKは国際放送の朝のニュース放送時間帯を考え直してほしい。